



人と化学の未来をめざして
マナック株式会社

CSR報告書

2014

瀬戸内の海から生まれた技術は進化し、福山から世界へ

■編集方針

“生命の源”と言われる海水の資源から生まれたマナックにとって、地球環境を守ることは使命のひとつです。ステークホルダーはもちろん、地域社会の人々に信頼される企業を目指し、責任ある企業活動を行っています。

本報告書では、「マネジメント」、「環境への取組み」、「安全衛生への取組み」、「社会との関わり」の4部構成で、持続可能な社会の実現に貢献するための様々な取組みをご紹介します。

今後とも、CSR活動に取組むとともに、皆さまとのコミュニケーションを図り、よりわかりやすい編集を目指していきます。

■報告対象期間

2013年4月～2014年3月

■報告対象組織

マナック株式会社を対象としています。なお、マナックグループの概要、財務ハイライトはマナックグループ連結の数値です。

■参考としたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン（2012年版）」GRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン第3.1版（G3.1）」

■お問い合わせ先

マナック株式会社 環境品質保証室

TEL：(084) 954-3330

FAX：(084) 953-8523

E-mail：info@manac-inc.co.jp

■CONTENTS

編集方針	1
トップメッセージ	2
マナックグループの概要	3
マネジメント	
企業理念	4
経営理念	4
事業活動	4
コーポレート・ガバナンス	5
内部統制	5
リスク管理	6
コンプライアンス	6
環境への取組み	
マテリアルフロー	7
環境マネジメントシステム	7
省エネルギー	8
地球温暖化防止	9
廃棄物削減	9
化学物質の排出管理	10
環境への配慮	10
安全衛生への取組み	
安全衛生管理体制の確立	11
健康の保持増進	12
保安・防災	13
化学物質安全・物流安全	13
社会との関わり	14



この塔は、1970年代頃まで使用されていた臭素製造装置を移設し、ブローム工業のシンボルとして保存しています。



**スペシャリティーケミカルをベースに
社会の進化・発展に貢献します。**

取締役社長
杉之原 祥二

■ごあいさつ

マナックは江戸時代から行われていた製塩業をルーツに、1948年に広島県福山市に誕生しました。この瀬戸内の海から生まれた技術を世界に通用する臭素化、ヨウ素化の化学合成技術へと進化させ、難燃剤や医薬品原料、高機能ポリイミドなどの分野で、高機能製品を生み出してまいりました。

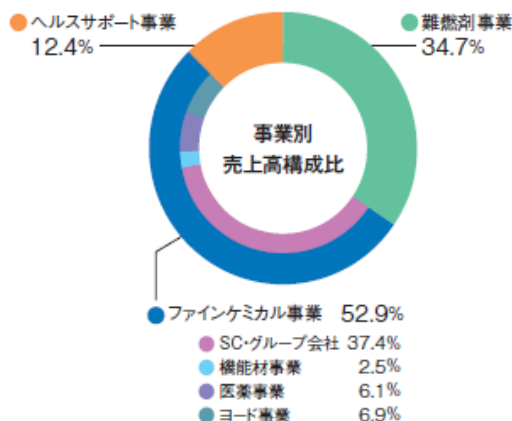
「社会的存在価値のある製品を提供し続ける」という確固たる信念のもと提案型研究開発を推進するマナックでは、これからも次世代エレクトロニクス、医薬品、情報記録材料など先端技術産業に携わるお客様からの「高度なニーズ・潜在的なニーズ」にお応えできる製品の開発に努めてまいります。

マナックは国際市場をターゲットに、国内、海外の垣根を取り払ったグローバル企業として、環境とグローバル・スタンダードへの対応強化に全力で取り組む所存です。今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

マナックグループの概要

■会社概要 2014年3月31日現在

商号	マナック株式会社
設立	1948年（昭和23年）5月
従業員数	176名（グループ従業員数305名）
資本金	17億5,750万円
証券コード	4364



■事業所

本社・福山工場	広島県福山市箕沖町92番地
東京支社	東京都中央区日本橋3丁目8番4号
大阪営業所	大阪府中央区道修町1丁目4番6号
研究所	広島県福山市箕沖町92番地
郷分事業所	広島県福山市郷分町950番地の1

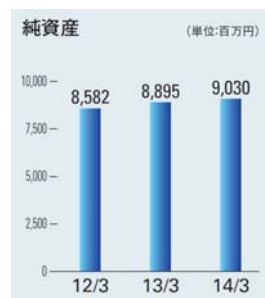
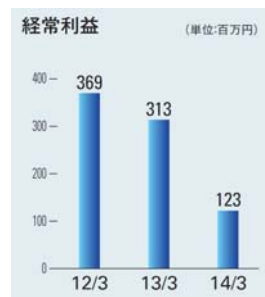
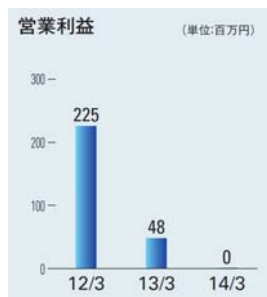
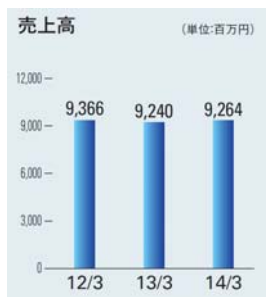
■子会社

八幸通商株式会社
 南京八幸薬業科技有限公司
 エムシーサービス株式会社

■関連会社

コード・ファインケム株式会社

■連結財務ハイライト



マネジメント

■企業理念

『スペシャリティーケミカルをベースに社会の進化・発展に貢献する』

～進化する技術、そして進化する人間をめざして

■経営理念

- 1 「地球環境・人間社会に信頼と安全・安心・感動を発信する会社」をめざす
- 2 英知と勇気をもって能力を最高に発揮し、企業価値の最大化をめざす
- 3 明日の未来社会からも注目される会社をめざし、常に『革新』

■事業活動

当社では、単に景気の回復を期待するだけでなく、ファインケミカル事業、難燃剤事業、ヘルスサポート事業の各分野において、マーケティングに基づく新製品開発に取組み、業績の向上に向けて鋭意取り組んでいます。

また、関連業界におきまして、国際化による海外比率の増加に対応するため、当社では、海外企画開発室を中心に海外展開の強化に取り組んでいるところです。

国際競争は今後さらに激化することが予想されますが、当社グループは、ファインケミカルや臭素の国際市場において、われわれが強みを持つ臭素化、ヨウ素化の技術を活かして「より高い付加価値」を提供し、グローバルニッチ市場での勝ち組を目指した事業活動に取り組んでいきます。

また、当社は2014年6月に中国、江蘇省南京市にマナック100%出資の新会社を設立いたしました。中国をはじめとするアジア地域における事業拡大と更なる成長を目指し、ファインケミカル製品の製造機能の強化に積極的に取り組んでいます。

- ・「先を見据える」
- ・売上高から「利益を積上げる」へ
- ・国内市場+海外から「国際市場」へ
- ・モノづくりから「売れモノづくり」へ

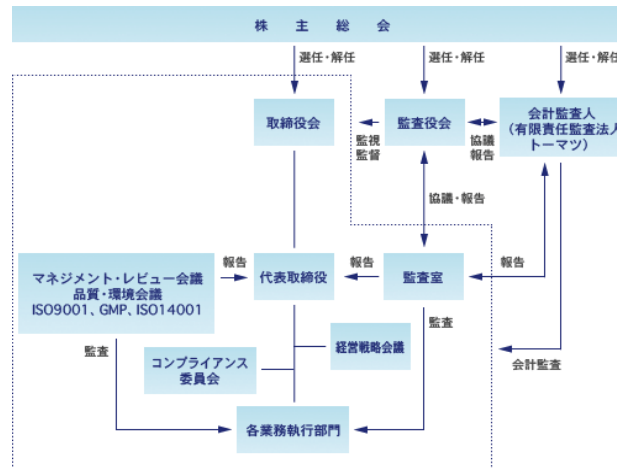


マネジメント

■コーポレートガバナンス

株主の皆様並びに社会に対する責任を自覚し、経営資源の最適活用を図り、長期的、継続的な株主価値の最大化を実現するとともに、社会規範に沿った事業活動を行い、コーポレート・ガバナンスを充実させていくことが経営上の最重要課題のひとつと位置付けています。

■コーポレート・ガバナンス体制



■内部統制

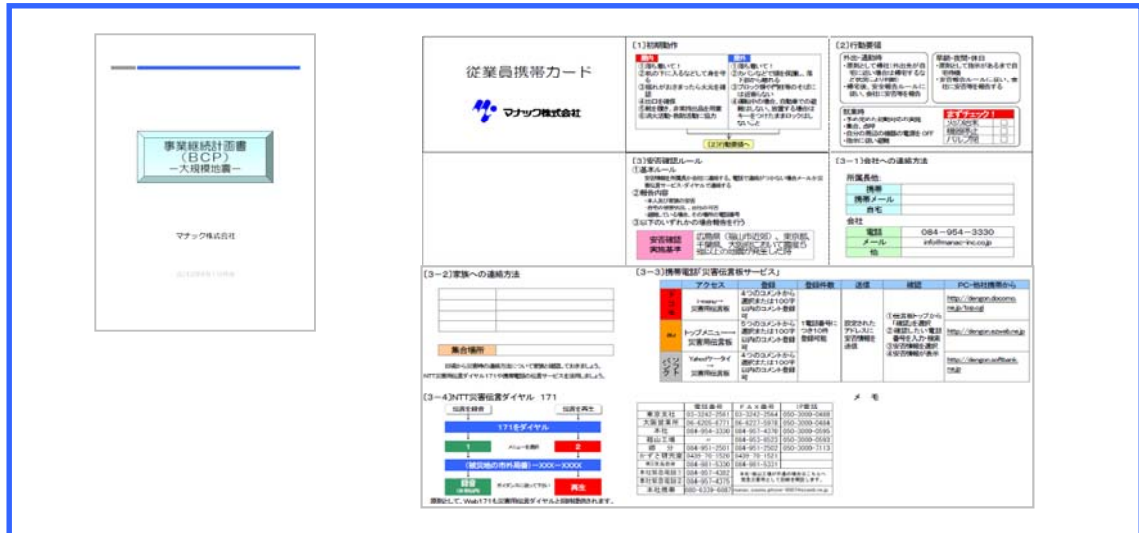
「業務の適正を確保するための体制」を定め、会社法に基づく内部統制システムを構築しています。また、金融商品取引法に基づく財務報告の信頼性を確保するために、有効な内部統制システムの構築と評価を行っています。

- 一. 取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
- 二. 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
- 三. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- 四. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
- 五. 当社及びその子会社からなる企業集団における業務の適正を確保するための体制
- 六. 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項及び当該使用人の取締役からの独立性に関する事項
- 七. 取締役及び使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制及びその他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

マネジメント

■リスク管理

常にさまざまなリスクをあらかじめ念頭において事業活動を行っています。それらのリスクに対応するために、事前の備えと事後の措置として、各種規程を定め、リスクを最小限のものにするために必要な社内体制を確立しています。また、大規模地震を想定した事業継続計画（BCP）に加え、インフルエンザなどパンデミックへの対応も行っています。



■コンプライアンス

この「企業行動憲章」に基づいた企業活動を通じて、公正で透明性のある企業を目指すとともに、当社のステークホルダーをはじめ一般社会からの確固たる信頼を確保し、企業の社会的責任を果たしていきたいと考えています。

2006年7月制定
2013年4月改訂

企業行動憲章

私たちは、スペシャリティーケミカルをベースに社会の進化・発展に貢献するためにこの企業行動憲章を定めます。私たちは、あらゆるステークホルダーとコミュニケーションを図り、社会的存在価値のある製品を提供し続けたいと考えています。

1. 私たちは、各国・地域の法令を遵守するとともに、高い倫理観をもってグローバルな事業活動を展開します。
2. 私たちは、良き企業市民として、公の秩序に従い、信義誠実な行動を行うと共に社会貢献に努めます。
3. 私たちは、会社情報を適正に管理し、適時、適切に情報開示し、公正で透明な経営を行います。
4. 私たちは、反社会的勢力とは一切の関係を遮断します。
5. 私たちは、人間の権利と人格の尊重はもとより、各国・地域の文化や慣習に配慮し、社会の発展に貢献します。
6. 私たちは、株式公開企業として、地域社会、取引先、株主、投資家、従業員との信頼と関係を大切に考えます。
7. 私たちは、環境と安全に十分配慮します。
8. 私たちは、お客様に満足して頂くため、化学技術を通じて社会に新たな価値を提供します。

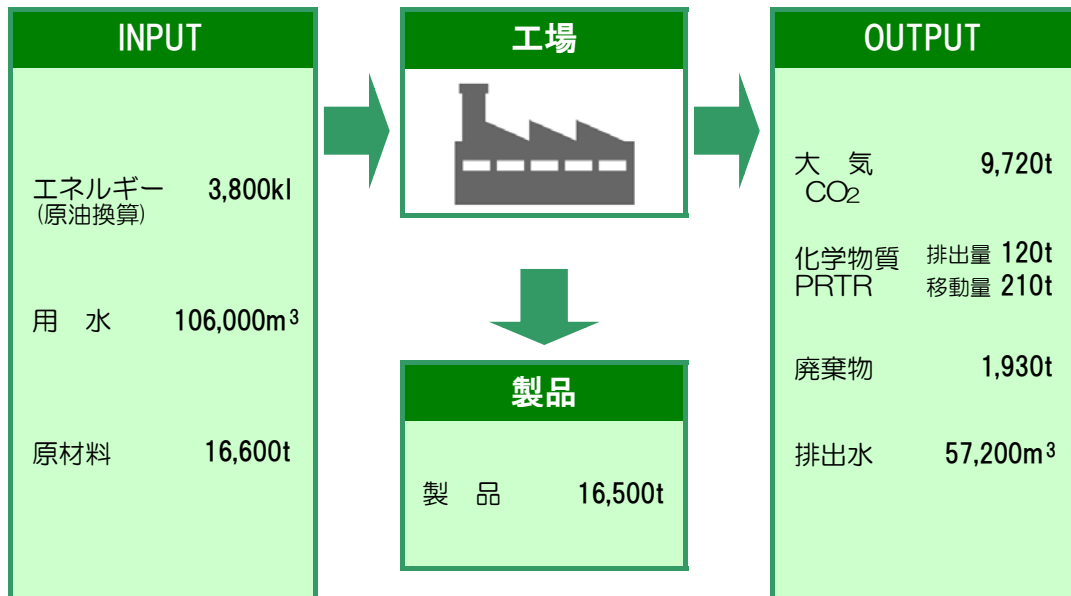
内部通報制度

より使いやすく、信頼性もより確保される仕組みを目指して、内部通報制度を運用しています。

環境への取組み

■ マテリアルフロー

事業活動に伴い投入する資源やエネルギー、排出物質を定量的に把握し、環境負荷の低減や地球温暖化防止対策に役立てています。今後とも省資源、省エネルギー対策とともに、廃棄物の削減、再資源化を推進していきます。



■ 環境マネジメントシステム

2003年10月にISO14001の認証を取得して以来10年、「マナック環境方針」に沿った環境への取組み計画の策定と推進を継続しています。この間、2006年に2004年版への移行や3年毎の認証の更新も行い、認証を維持継続しています。

■ マナック環境方針

当社は温暖な気候に恵まれた瀬戸内の地に創業し、今日まで企業活動を展開してきました。この恵まれた環境を守ることも企業の使命であり、環境保全への取り組みを経営の最重要課題の1つと認識し、企業活動を展開します。

1. 環境管理のための体制やシステムを確立し、その運営については定期的な見直しを行うと共に、継続的改善を図ります。
2. 環境保全に関する各種法令・協定等を順守し、環境汚染の予防に努めます。
3. 生産活動等において、大気への排出の抑制と廃棄物の削減に配慮した環境目的・目標を定め、その実現を図ります。
4. 省エネルギーを中心とした温暖化防止への取り組みを進めていきます。
5. 全従業員の環境に対する意識と知識の向上を図るため、積極的な教育活動を展開・推進します。



環境への取組み

■省エネルギー

当社はエネルギー管理「特定事業者」として、生産のほとんどを受け持つ「福山工場」（「第1種指定工場」）を中心に、全社において省エネルギーを推進しています。
 熱源であるボイラーの燃料（都市ガス）削減、駆動電力削減及び事務／生活系での電力削減に継続して取り組んでいます。
 また2011年以降は、最大需用電力（デマンド）のピークカットを重点課題とする『節電の夏』に注力しており2013年度末の契約電力は2011年9月比で6%の低減となっています。

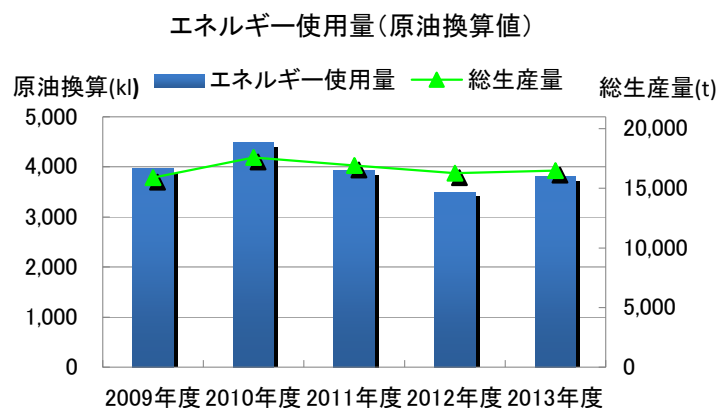
■継続中の取組み

- ・省エネ型冷凍機、エアコン、高効率変圧器への更新
- ・LED電灯の導入
- ・屋根の遮熱、緑のカーテン
- ・窓の遮光等により空調の負荷ピークを緩和
- ・クール・ビズ、ウォーム・ビズ並びに、こまめな消灯や空調停止などの節電活動
- ・工程時間の調整によるピーク時電力をシフト
- ・設定圧力（空気圧、蒸気圧）の低化による負荷低減
- ・冷凍機系の定期整備（熱交換部、冷却塔など）
- ・配管、トラップ、保温材などの自主保全活動



■エネルギー使用量の推移

需要の回復に伴いエネルギー使用量は昨年より増加しています。さらに、製品構成が変動して新製品の試作が多くなったことから、基準生産量あたりの使用量もわずかに増加しました。



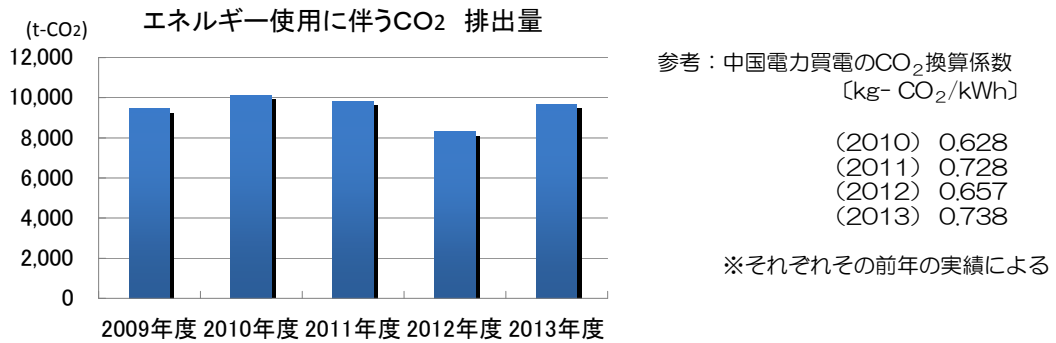
環境への取組み

■地球温暖化防止

当社の温暖化ガス排出のほとんどはエネルギー起因CO₂です。デマンド監視システムにより、目標の電力使用量を超えないように従業員全員で節電に取り組んでいます。また、鉄道輸送の活用や廃棄物発生抑制（委託先での温暖化ガスの削減に寄与）にも取り組んでいます。

■二酸化炭素（CO₂）排出量の推移

2013年度排出分に適用される電力購入先（中国電力（98.5%）、東京電力、関西電力）のCO₂換算係数（各社の2012年度発電実績に基づく）がそれぞれ12~14%と大きく上がりました。（2012年度に原子力発電が停止し化石燃料を消費する火力発電がほとんどとなったため）これにより、需要回復によるエネルギーの増加分も含め、大きく増加（リバウンド）しました。

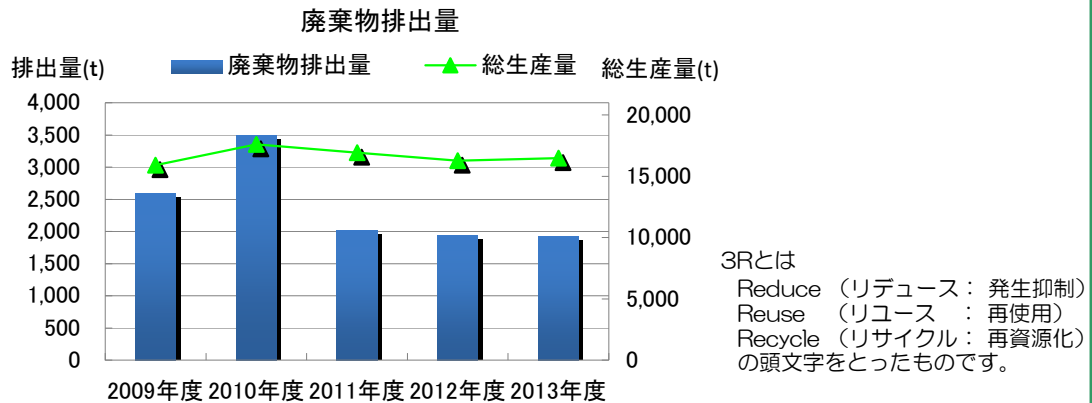


■廃棄物削減

当社では、廃棄物の分別回収、溶媒のリサイクル等、廃棄物の適正な処理と再資源化に努めています。また、廃棄物の処理に関しては優良認定処理業者を選択し、3Rの推進を実施して、燃料やセメント原料への転化を行い、循環型社会の構築に貢献しています。

■廃棄物排出量

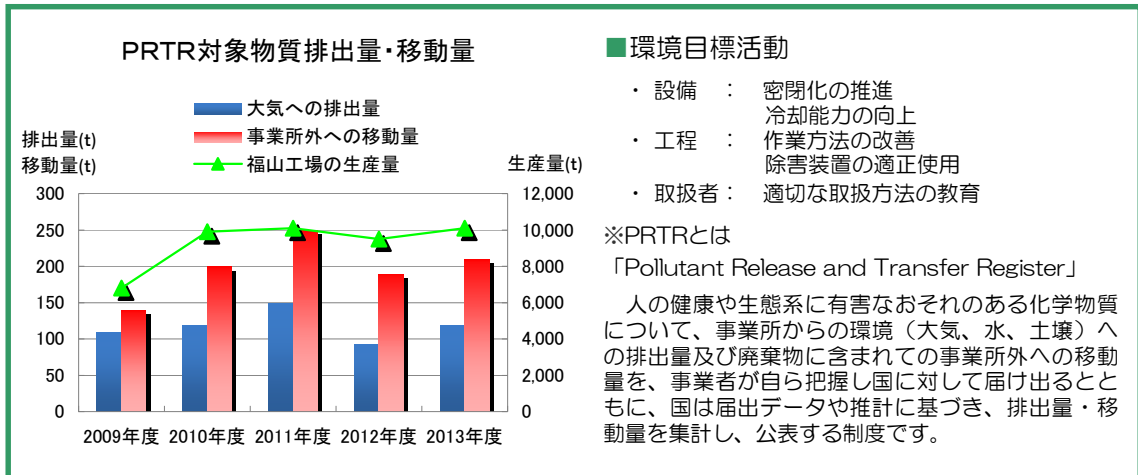
廃棄物の抑制に関しては、工程等の見直しにより原料の使用量削減等を実施し、それぞれ廃棄物の発生抑制を行っています。



環境への取組み

■化学物質の排出管理

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」（PRTR法）に基づき、その対象事業所となる福山工場においては、化学物質の環境への排出量・移動量を把握しています。ISO14001システムとも連動し、環境目標活動として種々の取組みを行い、排出、移動の削減に努め、対象物質を取扱う製品の生産量あたりの排出量・移動量は減少していますが、2013年度は対象物質を取扱う製品の生産数量の占める割合が増加したため、排出量・移動量も増加しました。



■環境への配慮

■環境配慮型製品「AdBlue（アドブルー）」

ガソリン車に比べて燃費がよく、省エネルギー、CO₂削減の観点からディーゼルエンジンが注目されています。特に、道路輸送の主役であるトラックのディーゼルエンジンに対する環境規制は、世界的に高度な処理技術が要求されています。この対策として、国内トラックメーカー各社は窒素酸化物（NO_x）を無害な水と窒素に分解する尿素選択還元方式（SCR）を導入しており、現在、需要は順調に拡大しています。

当社のAdBlueはドイツ自動車工業会（VDA）の厳しい品質規格に適合の後、ライセンスを取得し、環境配慮型製品として提供しています。



（アドブルー専用ローリー）

■電動フォークリフトの採用

排ガス対策として電動フォークリフトを採用し、2013年度は14台が稼働しています。

■PCB廃棄物の処分

「PCB特別措置法」に従い郷分事業所に高圧コンデンサー4基を長期保管していました。2013年3月に日本環境安全事業株式会社（JETOC）北九州工場へと運搬・処分委託し、同6月最終処分を終了しました。

■臭素及びヨウ素の有効利用とリサイクルの推進



（電動フォークリフト）

安全衛生への取組み

■安全衛生管理体制の確立

福山工場は、“安全とコンプライアンスを重視した「事故・災害ゼロ」の信頼される工場となる”の方針を掲げ、基本ルールの遵守と常に安全意識を優先した、守られるルール作り、先取り安全による種々の安全衛生活動により、事故・災害ゼロを目指し、安全第一の文化を醸成しています。

■安全衛生活動

労働災害ゼロ、職業性疾病ゼロを目指し、従業員が安全で安心して働くことのできる快適な職場環境を整備し、安全衛生の水準向上に努めています。

また、安全衛生委員会と委員会内に設けたワーキンググループにより、テーマ毎に検討を行い、安全衛生に関する自主的な活動を展開しています。

- ・安全自主活動の推進による職場の活性化
危険に対する感受性の維持・向上活動
「危険予知活動の実践 KYT、指差し呼称、ヒヤリ・ハット推進」
- ・ワーキンググループによるテーマ別活動
安全教育の企画及びヒヤリ・ハット運動の推進
- ・部署別安全衛生管理の推進と定期報告
- ・予防保全による安全化
機械設備の安全性、耐久性確保
- ・安全衛生パトロール
役員による工場巡視
産業医による職場巡視
安全管理者、衛生管理者による日常、定期パトロール
- ・全国安全週間、労働衛生週間行事
衛生週間行事には運動習慣のきっかけとなるようにハイキング「歩くことから」を企画
- ・5Sの推進
「5S - (はじめ) からスッキリ大作戦」と題し
安全の基本、整理・整頓を徹底的に行い安全環境を整備
- ・外部関連団体との連携安全管理体制の確立



(安全衛生パトロール)



(防毒マスク取扱い講習)



(ハイキング)

安全衛生への取組み

健康の保持増進

当社では、従業員一人ひとりが健康に過ごせるよう、年2回の定期健康診断を行い、検診の結果、再検査が必要な場合や、所見がある場合には、産業医による個別のフォローを実施するなど、生活習慣病などの予防に努めています。その他、広島県の健康関連事業と連携し取り組んでいます。

■産業医による健康管理、衛生の指導

- ・衛生講習会「脱メタボ食 - 辛党で行こう」と題した生活習慣病予防講習会開催
- ・毎月の心と身体の健康相談
- ・日常の生活改善指導による、健康への支援

■広島県の健康関連事業

- ・がん検診・がん予防職域出前講座「がん検診へ行こうよ」と題したがん発症状況と検診による早期発見、早期治療の重要性などを中心とした研修会開催

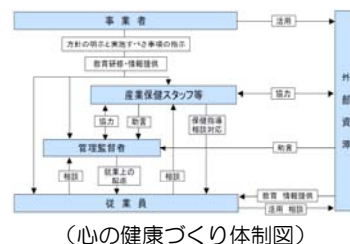
心の健康づくり

メンタルヘルス対策として、全従業員を対象とした「心の健康診断」やセルフケア、ラインケア等の研修を実施し、心と身体の健康管理に取り組んでいます。

■心の健康づくり計画

心の健康づくり計画を、2014年1月1日に策定し運用しています。

従業員とその家族の幸福な生活のために、また事業場の生産性及び活気のある職場づくりのために重要な課題であり、メンタルヘルス不調への対応だけでなく職場のコミュニケーションの活性化などを含めて広い意味での心の健康づくりを推進しています。



(心の健康づくり体制図)

■心と身体の健康づくり、明るい職場環境の推進

- ・社外専門家のケアによる、家族を含めた心の健康診断相談の窓口を設置

■メンタルヘルス講習会

- ・全従業員対象（メンタルヘルスのセルフケア及びメンタルヘルス関連VTR講習）
- ・管理職対象（ラインケアの重要性から、部下への対応とポイントを習得）
- ・メンタルヘルスのラインケアセミナー、ラインケアの基礎知識、ロールプレイングによる実践を想定した演習



(産業医による衛生講習)



(メンタルヘルス講習会)



(広島県がん検診啓発ポスター)

安全衛生への取組み

■保安・防災

■防災訓練

工場では、危険物施設や薬品保管施設などでの事故発生（火災・爆発、漏洩）を想定した対応訓練を計画的に実施し、防災に関する継続的なレベルアップに努めています。

ここ数年は、自然災害（地震、津波）想定訓練にも力を入れ、BCPへとつながる準備も進めています。2012年度は東南海・南海地震による3mの津波を想定した工場内高所への避難訓練を実施しました。



【近年の防災訓練実施状況（福山工場）】

年月	事故想定
2009年 6月 8月 11月	薬液配管破損・漏洩 静電気火災（危険物） 薬液配管破断・漏洩
2010年 6月 10月 11月 3月	設備破損・薬液、ガス漏洩 強い地震時の初期行動 薬液配管破損・漏洩 地震→薬液配管破損・漏洩「消防合同防災訓練」予行演習
2011年 5月 11月	地震→薬液配管破損・漏洩「消防合同防災訓練」 大地震～津波時の退避訓練（近隣高台への移動）
2012年 5月 10月 11月	薬液移送ポンプ破損・漏洩 地震～津波時の退避訓練Ⅱ（場内高所への移動） 危険物火災
2013年 6月 11月 3月	設備破損・薬液、ガス漏洩 薬液配管破損・ガス漏洩 （同上）指揮・連絡訓練

■化学物質安全・物流安全

便利で快適な私たちの生活は、さまざまな化学物質に支えられていますが、これらの化学物質は多くの法令などにより規制されています。各種法令を遵守し、安全な取扱いを心掛けるとともに、MSDS、ラベル、イエローカード等により、お客様や物流関係の方にも情報を提供しています。

■GHS対応

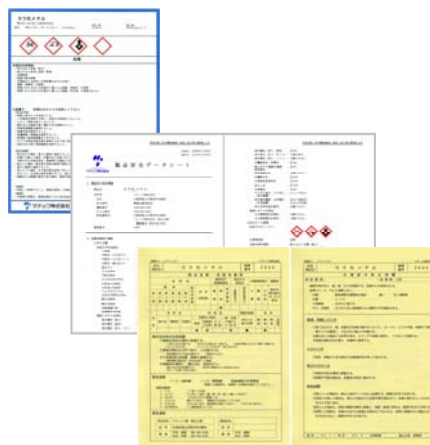
化学品の分類及び表示に関する世界調和システム（GHS）に基づいて、化学品の危険有害性を一定の基準に従って分類し、絵表示などを用いて分かり易く表示したラベルへの対応を進めています。

■MSDS（安全データシート）による情報提供

化学物質の性状及び取扱いなどに関する情報が記載された化学物質安全データシート（MSDS）を作成し、お客様に提供するとともに、社内の担当者にも通知し、取扱い時の注意喚起を促しています。

■イエローカード

万が一の輸送中の事故に備え、物流安全指針に沿って、運転手や消防・警察などの関係者が取るべき処置を記載した緊急連絡カード「イエローカード」を作成し、輸送中の注意喚起を促しています。



社会との関わり

■福山箕沖団地協議会への参加

団地協議会の各会員企業の連携と親睦を図るとともに、地域社会への貢献を目的として活動しています。

【環境改善対策／会員相互の啓発親睦】

- ・ 街路灯管理……定期的な保全の推進
- ・ 清掃活動……団地内一斉清掃の実施
- ・ 放浪犬対策……愛護センターと連携した保護活動の実施
- ・ 各種競技会への参加



(団地ボウリング大会)



(消防出初式)

■その他地域活動への参加

- ・ 福山地区消防開催行事への参加

■美化活動

本社・福山工場では、地域貢献の一環として定期的に事業所周辺の清掃活動を行っています。道路のゴミ拾いや、草引き、ポイ捨て、不法投棄物等の収集・撤去等の活動を積極的に行い、地域社会とのコミュニケーションを図っています。



(公共道路清掃)



(緑地整備)

■インターンシップ

当社では、大学生が授業で学んでいる理論や知識を実際に企業内で実習、就業体験をして頂くインターンシップを受け入れています。実作業を体験する中で、社会や企業に対する理解を深めていただき、学生の皆様には就労意識を高めていただくための研修の場として活用頂いています。



(指導風景)



(体験実習)

■チャレンジウィークふくやま

2013年8月 郷分事業所において近隣中学生が参加して職場体験学習を行いました。「仕事を実際に体験し、「挨拶や礼儀の大切さ」「働くことの大切さ」「毎日働いている保護者への感謝」など、普段の学校生活では経験できない多くのことを学ばれています。



(学習生)



(感謝状)

社会との関わり

■ 献血活動

マナックでは、地域社会への貢献として毎年献血活動への協力を行っています。人命救援に関わる本活動は、医薬品を扱う企業として社員の意識向上を図っています。今後も従業員への献血参加への呼びかけを継続して、献血活動に協力していきます。



(福山工場内にて)



(献血車内)

■ 臭素化学懇話会

臭素化学懇話会とは、臭素に関する研究者・技術者が情報交換や知識交流を図ることを目的に2008年に発足した産学連携組織です。マナックは、その発足から関わる理事企業です。毎年「ハロゲン利用ミニシンポジウム」を開催し、ハロゲン全般に関する世界的にも類を見ないシンポジウムとして注目度も高まっています。



(ハロゲンシンポジウム)



(展示風景)

■ 福山市と「環境」

福山市南東部の箕沖地区周辺は、環境関連施設が集積しており、広島県を中心に福山市や地元企業などが連携して「環境観光モデル都市づくり推進特区」の一部として内閣府から指定されるとともに、経済産業省から「次世代エネルギーパーク」として認定を受けました。当社も箕沖地区にあり、環境活動へ積極的に参加しています。



(環境観光)



(福山市と環境)

■ 福山市環境活動への参加

従業員が環境にやさしいライフスタイルを一層促進させる目的に「ふくやまエコトリアスロン」に協賛し、参加しました。

【環境配慮行動の取組み】

- ・ 紙ごみの資源化に協力
- ・ リサイクル体験講座への参加
- ・ ふくやま環境大学の受講
- ・ 環境関連施設見学など



(ニチパン巻心ECOプロジェクト)



(ふくやまエコトリアスロン)

